

## 令和元年度 第1回中野市保育所等運営審議会 会議録(要旨)

日 時	令和元年7月9日(火) 13:25~14:40
会 場	会議室51
出席者	<p><b>【委 員】</b>  田中 潔 委員、黒崎 廣行 委員、高橋 みよ子 委員、安田 佳子 委員、  原 香子 委員、堀内 和幸 委員、小山 むつ子 委員 7名</p> <p><b>【事務局】</b>  月岡子ども部長、戸田保育課長、堀米保育係長、豊田施設係長、高藤副主幹、  仲條主任主事 6名 計13名</p>
欠席者	土屋 まゆみ委員
内 容	<p>・審議に先立ち、こども部長が、委員の過半数の出席があり、審議会条例の規定により本日の審議会が成立したことを報告した。また、現在の待機児童の状況について報告した。</p> <p><b>会議事項① 会長・副会長の互選について</b></p> <p>・委員の互選により、田中 潔委員が会長に、小山 むつ子委員が副会長に決定した。</p> <p><b>会議事項② 中野市小規模保育事業所整備事業者選考審査会委員の推薦について</b></p> <p>・事務局が、配布資料に基づき説明した。</p> <p>・中野市小規模保育事業所整備事業者選考審査会委員として、田中 潔委員、小山 むつ子委員、黒崎 廣行委員、高橋 みよ子委員の推薦を受けた。</p> <p><b>【委 員】</b></p> <p>・応募件数は何件か。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>・3件。そのうち、1~2件程度の選考を考えている。</p> <p><b>【委 員】</b></p> <p>・保育実施場所は、市が建設するのか。または、業者が建設したり既存の施設を用意したりするのか。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>・民設民営が基本。業者が施設を用意する。ただし、工事が関わる場合、市からの補助金が出る。</p>

**会議事項③ 幼児教育・保育の無償化について**

- ・事務局が、配布資料に基づき説明した。

**【委員】**

- ・「保育の必要性の認定」について、認定されるためには、「就労」の他どのような条件があるのか。

**【事務局】**

- ・基本的には、現行の「保育を必要とする事由」と同様。「就労」の他、「妊娠・出産」や「保護者の疾病・障害」等がある。

**【委員】**

- ・今年度待機児童が出た際、「基準点」を設けて、順位づけをしていると聞いた。就労や家庭状況の実態について、どのように把握していくつもりか。

**【事務局】**

- ・あくまでも待機・保留児童が出た場合に、基準点による順位付けを行い、入所調整をしている。今回の無償化に係る「保育の必要性の認定」については、基準点による順位付けを設けるものではない。
- ・就労や家庭状況の実態については、基本的には提出された書類により把握をしている。ただし、書類提出後に申込内容等に変更があった際は、保育課に連絡するようお願いしているため、実情を見ながら対応している。

**【委員】**

- ・年々、育児に不安感を持ち、いっばいいっばいになっている親が増えていると感じる。そのような、書類に出てこない、保育の必要性がある親を支援していただくことをお願いしたい。

**【委員】**

- ・土曜日給食を全園提供しないことについて、現在は提供する園としない園とがあり、不公平感を持つ親がいることも分かるが、土曜日給食の継続を望んでいると親の意見もある。
- ・延長保育のように、利用する親だけがお金を払い、利用しない親が払わないという方法はどうか。お金を払ってでも、土曜日給食を希望する親もいる。

**【委員】**

- ・土曜日給食を「提供しない」ことにシフトすることが正しいことなのか。保護者のことを考えると、「提供する」ことを基本とした方が、ありがたいのではないか。

**【委員】**

- ・女性活躍を推進する、負担を軽くするという意味で、土曜日給食は続けた方が、皆さんからの理解を得られるのではないか。

**【委員】**

- ・個人的な意見としては、土曜日給食を提供しなくていいと思う。市の人口が減り、税収が減っていく中で、子育てに限らず、使い道を考えなくては。
- ・週に1回、おにぎり1個でも、親からの弁当が愛情表現になることもある。

**【委員】**

- ・今後、保育所が運営できるかできないかまで考えていただきたい。
- ・保育は、人間形成の基礎になる部分。お金だけではなく、親も、「ただ預ければいい」という考え方ではなく、愛情をもって育ててほしい。

**【委員】**

- ・国が働き方改革をうたっているなかで、土曜日給食を提供するという事は、土曜日の就労を奨励していることにもなり、矛盾してように感じる。
- ・行政に対し、このような様々な意見を聞いてもらうだけでも、意義がある。

**【事務局】**

- ・実情として、土曜給食の利用者が多い園と少ない園とがあり、中山間地の園は利用が少ない。アレルギー持ちの児童も増えており、職員への負担が増している状況。
- ・職員の負担を軽減したいという意図もあることをご理解いただきたい。
- ・副食費については、次回審議会で、引続きお諮りしたい。

**【事務局】**

- ・副食費について、3子以降の算定基準に係る市独自軽減に関してご意見は。

**【委員】**

- ・国の基準よりも保護者負担が少なくなる、優遇されているという点で、保護者から喜ばれると思う。いいのではないか。

**会議事項④ （仮称）中野市新平岡保育園の名称募集について**

- ・事務局が、配布資料に基づき説明した。
- ・名称の応募締め切り後、審議会を開催し、選考を依頼する旨、説明した。

**その他（今後の日程について）**

- ・中野市小規模保育事業所整備事業者選考審査会  
令和元年7月19日（金）午後1時（4名の委員が出席）
- ・第2回中野市保育所等運営審議会  
令和元年7月30日（火）午後2時（別途通知）